



手袋の支出

- 家計調査結果より -



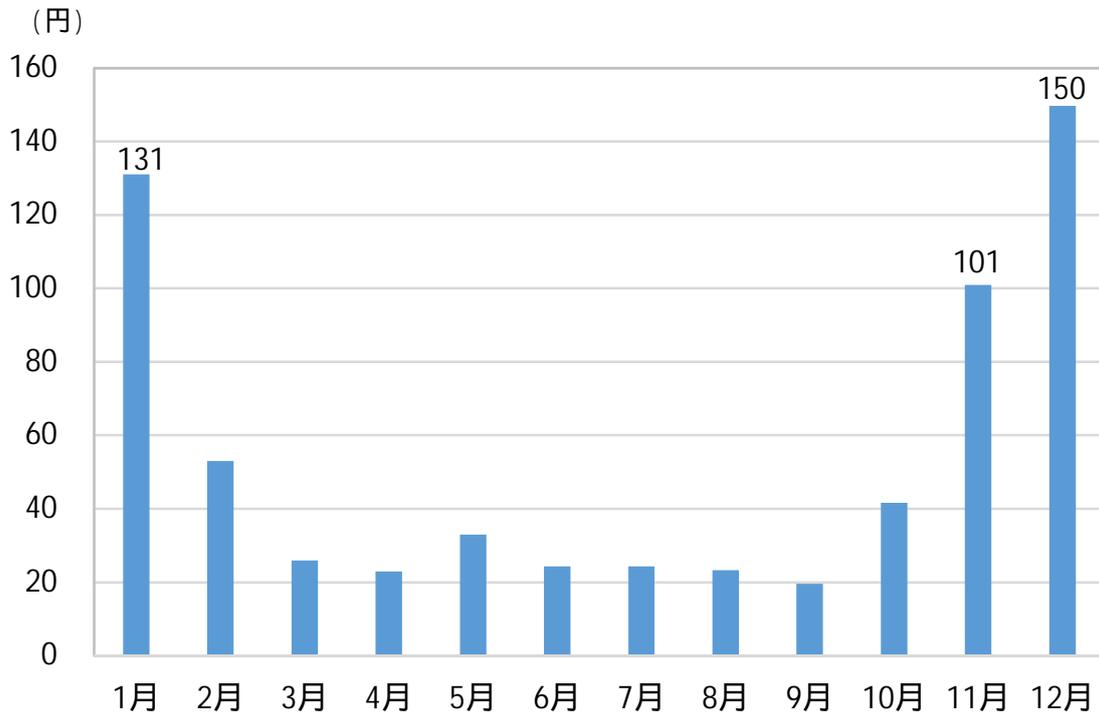
11月になり、寒い日も多くなってきました。お住まいの地域によっては、そろそろ防寒対策として、手袋を身に着ける方もいらっしゃるのではないのでしょうか。今月は家計調査（二人以上の世帯）の結果から、「手袋」^{注1）}の支出について見てみましょう。

注1） 家計調査結果の「手袋」は、軍手なども含みますが、ゴム手袋やスポーツ用品の手袋などは含みません。

「手袋」の支出は12月に最も多い

まず、「手袋」の1世帯当たりの支出金額を月別にみると、12月は150円と最も多くなっており、次いで、1月（131円）、11月（101円）となっています。全国的に1月から2月にかけて最も気温が低くなりますが、寒さが厳しくなる前に「手袋」の支出が最も多くなっていることが分かります（図1）。

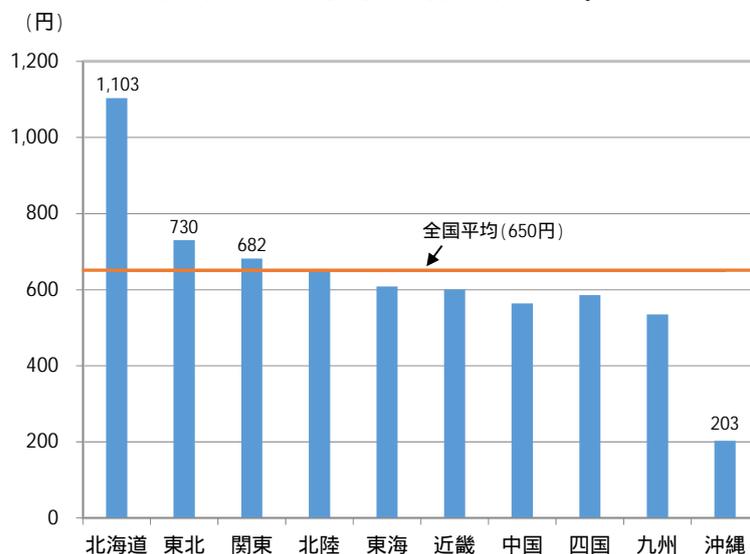
図1 「手袋」の1世帯当たり月別支出金額（2015～2017年平均）



「手袋」の支出は北海道で全国平均の1.7倍

次に、地方別に「手袋」の支出金額を見てみましょう。「手袋」の支出金額は、北海道地方で最も多く（1,103円）、全国平均の1.7倍となっており、次いで、東北地方（730円）、関東地方（682円）などとなっています。また、沖縄地方で最も少なく（203円）、全国平均の3分の1以下となっています。手袋の支出は、比較的寒い地域で多く、暖かい地域で少ないことが分かります（図2）。

図2 「手袋」の1世帯当たり地方別年間支出金額（2015～2017年平均）



横ばいで推移している「手袋」の支出

最後に、「手袋」と「被服及び履物」それぞれの名目金額指数^{注2)}を時系列で見てください。「被服及び履物」の名目金額指数は、2000年以降徐々に低下し、2017年では66.6となっています。一方、「手袋」の名目金額指数は、2000年以降90以上で推移しており、2017年では92.3となっています。「被服及び履物」全体の支出が減少していく中で、「手袋」の支出は減少傾向にはなく、ある程度の幅を持って横ばいで推移していることが伺えます（図3）。

注2) 名目金額指数とは、「手袋」及び「被服及び履物」それぞれの支出金額を、2000年を100として指数化したものです。

図3 「手袋」及び「被服及び履物」の名目金額指数の推移（2000～2017年）

